

第1回南高教養アップ講座

講師 株式会社 True Data 烏谷 正彦 氏、宮岡 麻耶氏

演題 「意外？納得？」

スーパーやドラッグストアの買い物から世の中を見てみよう」

【要旨】 データを「使う」と何が分かるのか、それは普段思っていたことと何か違いがあるのかを、実際のデータを触りながら考えてみます。また、データを「使う」「分析する」ということがどのように仕事で活かされるのかを、売り上げと社会のつながりを分析することで体験します。

【生徒の感想】

○僕は、CR（※Challenge Research 本校の課題研究の授業名）での「高校生の自転車交通

事故を減らす」という取組の中で、過去の事故のデータを集めています。そのため、今回の講座はデータを様々な観点から見る上でとても勉強になりました。データを見るだけでなく、そこから自分たちなりに考え、更に深いところまで調べようと思いました。また、一つのデータだけでは分からないところも複数のデータと照らし合わせれば、また違う発見もあるので、いろいろな方向から調べてみたいと思います。

○私はデータから考察するのが好きで、データを扱う職業に就けたらなと思っていたので、今回の講座はとても身になるものでした。生徒の考察の中に自分の頭では思いつかないような視点からのものがあり、更に烏谷さんの考察は専門家としての視点からのものであり、様々なことを学びました。今後の CR に生かしていきたいです。

○中学の時、商品の値段は過去のデータから決まると言われました。その時からデータはどのように使われるのか、とても気になっていました。今回、データはカードなどから情報を集められると知り、簡単に集めることができる分、怖いと思いました。データを見ることでその世代の生活のリズムを予測することができたり、たくさんの方が買ってくれるように値段を設定することができたりすると知って、データを用いる仕事に興味をもちました。

○私は大学で経済学部に入りたいと思っているので、このワークショップに参加しました。「ウレコン」というツールを使って、普段自分がお店で見ている商品で何がよく売れているのか、どの世代の方がよく買うのかなどを分かりやすいグラフで見ることができてとても満足しました。塩分チャージのタブレットは 40 代の方が買うからといって、その人が使うのではなく、子どものために買っているのかもしれないというように、一つのデータを一面的に見るのではなく、他の角度から見るということもして、データの真意を讀んでいこうと思いました。

○ただ表面上のデータだけを見てそれを信じるのではなく、見えないところのものの方が実は深く関わっていたりすることを知りました。これは人間関係や他のことにも繋がると思います。物事をぱっと見やしっかり理解せずに発言したりするのではなく、十分に理解した上でしっかり発言していきたいです。

○数字の動きからそこに書かれていない多くの情報を引き出せる可能性があるという

こ

とに驚きました。あらゆることを知れる訳ではないということにも注意しないとけないし、どの観点で作ったランキングかによっても大きく異なるものができるので、企業側の思惑なども読み取れたら楽しいだろうと思いました。

○たくさんのデータやグラフから、誰がどの商品をいつ買っているのかという傾向だけでなく、商品の価格の上がり下がりや、商品の売れ具合で社会の動きやその時間の人々の動きが分かるのはとても面白いと思った。

○CR で何か役に立つかなと思って参加しました。一つの情報をそのまま受けて考えるの

ではなく、様々な情報を取り入れ、グラフにしてみるなどして、奥深くまで考えてみなければならぬのだと分かり、とてもためになったと思いました。

○興味本位で申し込んだものだったけど、とても良い体験をすることができました。今まではよく口コミサイトなどのランキングを見て商品を選ぶ参考にしていたのですが、これからはウレコンのランキングも見て、どの商品が売れていて、どの位リピートされているのかも見て、自分が買う商品を決めたいと思いました。統計分野の面白さを身をもって感じるすることができました。

○購買記録のビッグデータから世の中の動きを知るという点が面白かった。最後の質問時に仰っていたアプリと購買データの連動によって、今までは分からなかったデータもこれから先の未来では活用できるようになると考えると、企業の戦略も幅が広がり、購買の主体である主婦世代だけでなく、我々学生世代にも需要のある商品が生み出されると思うととてもワクワクした！！

○この講座を受ける前はさほど興味はありませんでした。ですが、講義を聴いているうちにデータを使えばこんなことができるんだと、様々なことに興味をもち、実際に武器として利用したいと思いました。CM でよく聞く商品があまり売れていなかったり、意外な年齢層の人が買っていたりと、驚きがたくさんで面白かったです。世の中の動向、商品の動向についてまだまだ自分は知らないと感じ、同時にデータ、情報への好奇心が高まりました。

○今日のワークショップを通じて、ポイントカードはただポイントがたまるだけではなくて、そこからデータが作られていることに少し驚きました。ウレコンにあるデータ量はかなりの量で、また、それらのデータの活用を生業としている人や会社があることにも驚きました。True Data の方のように、データを作って、販売、生産をアシストしている人がいるからこそ市場や市場価格もうまく機能しているのかなと思いました。

○今回の講座では、データの使い方や商品を売り出していくための考え方や戦略など、自分の知らなかったことをたくさん学ぶことができました。商品のリピート率や購入している年齢層を見ることで、その商品の売り方が考えられるということを知り、統計学への興味が増しました。

○ 実際にウレコンを使うことで見えない世界が見えたり、感覚の部分を数値として見る

ことができたりして、True Data での仕事の基礎の基礎が少しは感じられたのではないかと思います。また、質問に答えてくださった烏谷さんと宮岡さんがお二人とも魅力を感じながらお仕事をされているようで、とても素敵だなと感じました。